

事業番号	09 03 05	事業改善シート(2年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農学部	課・室	農業技術課	
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり					
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、令和元年12月1日現在、農学部で119人の学生が学んでいる。</p> <p>○平成30年度卒業生は自家就農や農業法人への就職、農業協同組合、農業関連企業に就職し、多くの卒業生が本県農業の振興のために活躍している。</p> <p>○平成26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、農業経営コースの農家実習の拡充(24日→45日)、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めており、就農率は35.4%(H26)から62.5%(H30)と向上している。</p> <p>また、平成30年度から農産物輸出を見据え、総合農学科でGLOBAL GAP取得支援を含むGAP講義を開始し、令和元年度からは先端技術に対応できる人材を育成するため、スマート農業に関する講義を開始している。</p>	2年度 予算額	72,900 千円
		職員数	30.00 人

目指す姿	<p>○理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進んでいる。</p> <p>○寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。</p> <p>(主な実施内容:農大施設整備、農業に関する実践的な講義の実施、農業試験場での実習を通じた技術修得、里親前基礎研修等を通じた新規就農者の技術力向上研修の実施)</p>
------	---

事業 コスト	区分(単位:千円)	30年度	元年度	2要求	2予算案	指標及びその達成状況								
		前年度繰越				No	成果指標	30年度末	元年度末 (見込)	2年度				
		当初予算	72,199	74,403	73,848					72,900	目標値	成果	達成状況	
	予 算 額	補正予算												
		合計(A)	72,199	74,403	73,848	72,900	①	農学部 卒業生就農率(%)	63	63	67			
Aの 財源	一般財源	44,162	43,750	46,906	45,958									
	県債		3,000				②	研修部 けん引免許取得率	100	99	90			
	国庫支出金	17,701	17,098	16,850	16,850									
	その他	10,336	10,555	10,092	10,092		③	研修部 大型特殊免許取得率(%)	100	100	95			
	決 算 額(B)	68,806												
概 算 人 件 費	職員数(人)	32.00	30.00	30.00	30.00									
	概算人件費(C)	259,264	243,060	243,060	243,060									
	概算事業費(B(A)+C)	328,070	317,463	316,908	315,960									

成果指標 設定理由	<p>①本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定。</p> <p>②～③研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、「受講者免許取得率」の向上を成果指標に設定。</p>
--------------	--

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対 応
<input checked="" type="checkbox"/> 監査 <input checked="" type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	・農業大学校運営費について、スマート農業授業の導入機器の導入数を見直すこととし、経費を減額
--------------	---

### 2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	2年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	元年度 (当初)	2年度	
					(要求)	(予算案)
1	農業大学校運営費	より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施	22.00	50,589	49,706	48,758
2	実科・研究科費	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施	兼務	6,883	7,679	7,679
3	研修部費	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施	8.00	10,673	10,207	10,207
4	農業大学校施設整備費	研修部ガラス温室改修工事	兼務	6,258	6,256	6,256
		合計	30.00	74,403	73,848	72,900

## 事業改善シート附表

当初要求  
 当初予算案  
 補正予算案  
 点検

事業番号	事業名	農業大学校運営事業				部局	農政部		課・室	農業技術課		
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	2年度 実施内容（予定）	2年度 実施内容（実績）	2年度 実施 状況	30年度	元年度	2年度			
							当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)
1	農業大学校運営費	農業大学校総合農学科の運営費	直接	総合農学科では、先端分野であるスマート農業の講義や実習の充実を図る。平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。			50,871	50,589	49,706	48,758		
2	実科・研究科費	農業大学校実科・研究科の運営費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。			6,358	6,883	7,679	7,679		
3	研修部費	農業大学校研修部の運営費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。			10,498	10,673	10,207	10,207		
4	農業大学校施設整備費	農業大学校の施設整備費	直接	研修部のガラス温室改修工事を実施する。			4,472	6,258	6,256	6,256		
<b>合 計</b>							72,199	74,403	73,848	72,900	0	0